

Database Basic サンプル版

操作説明書

目次

インストール	2
アンインストール_	5
ソフトの起動	6
Data Entry...	7
Data Correction.	9
作業の終了	10
作業データの確認	12
作業課題データの印刷	13

インストール

1. コンピュータに[Database Basic]の CD-ROM をセットすると自動的にインストーラーが起動します。(起動までに時間がかかる場合があります。)

注意

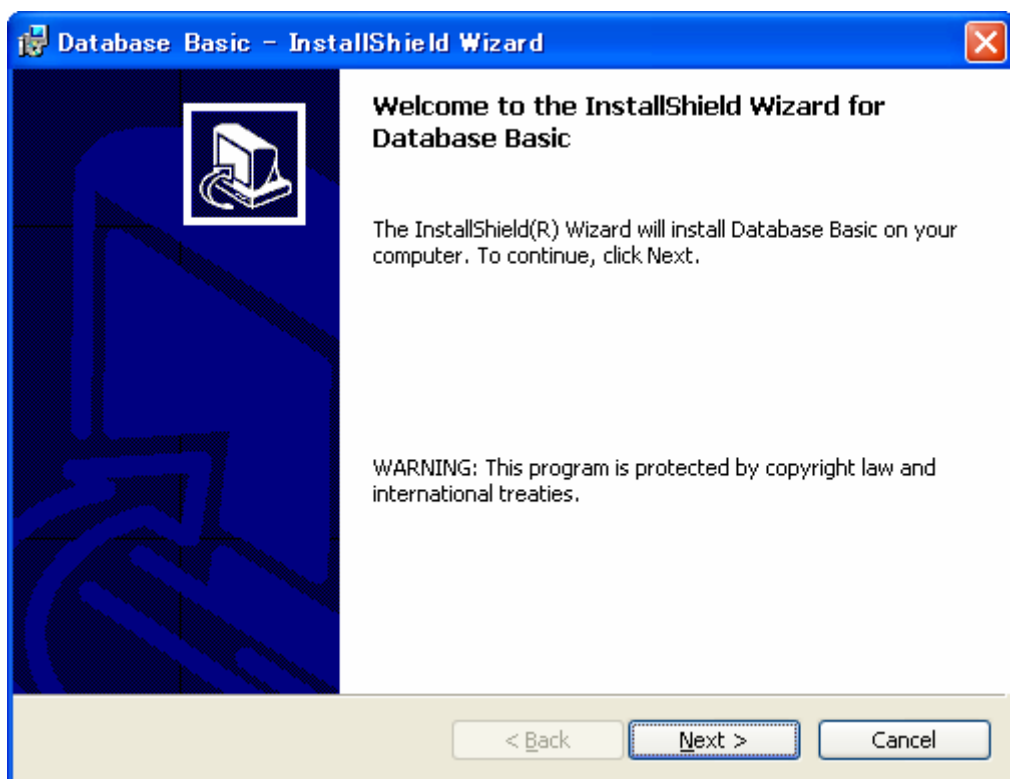
本ソフトは、Windows 2000, XP で動作しますが、Vista では動作しません。

また、本ソフトが動作するためには、コンピュータに Microsoft Access XP または 2003 がインストールされている必要があります。

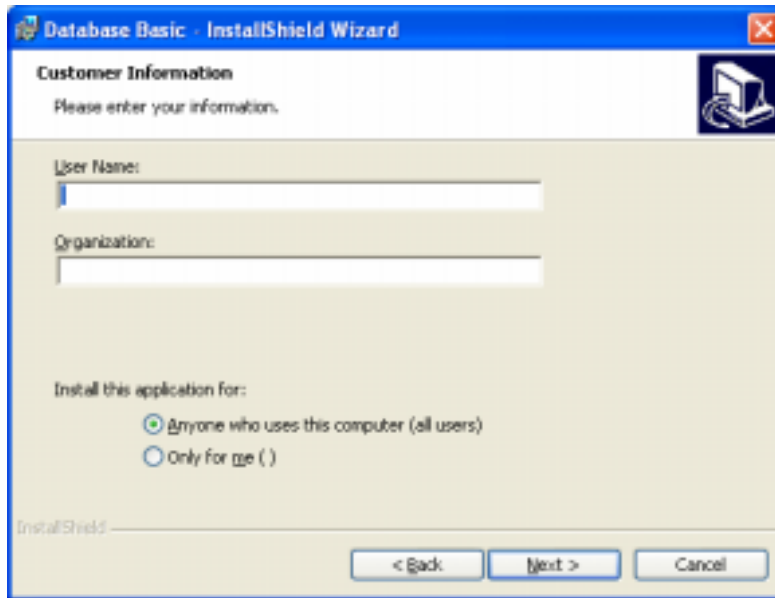
メモ

CD-ROM をセットしても自動でインストーラーが起動されない場合は、CD-ROM の中にある Setup.exe を起動してください。

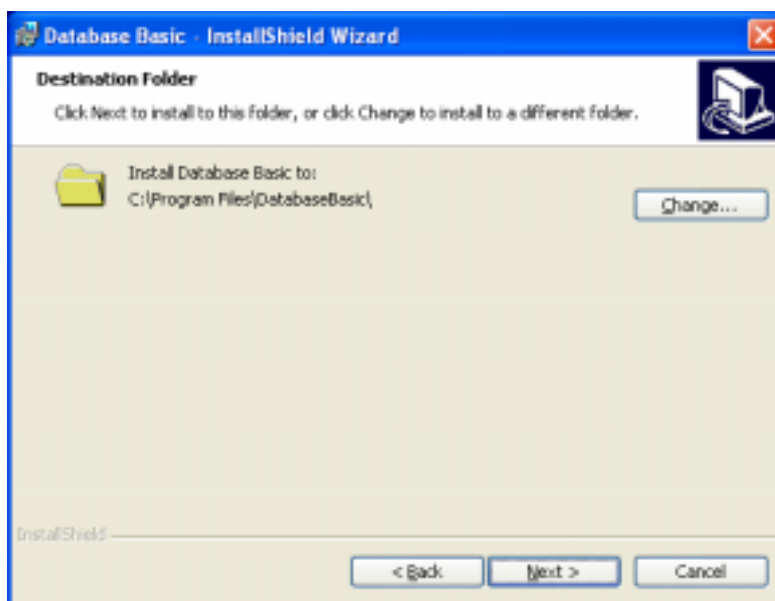
2. はじめに下の画面が表示されますので [Next] ボタンを押してください。



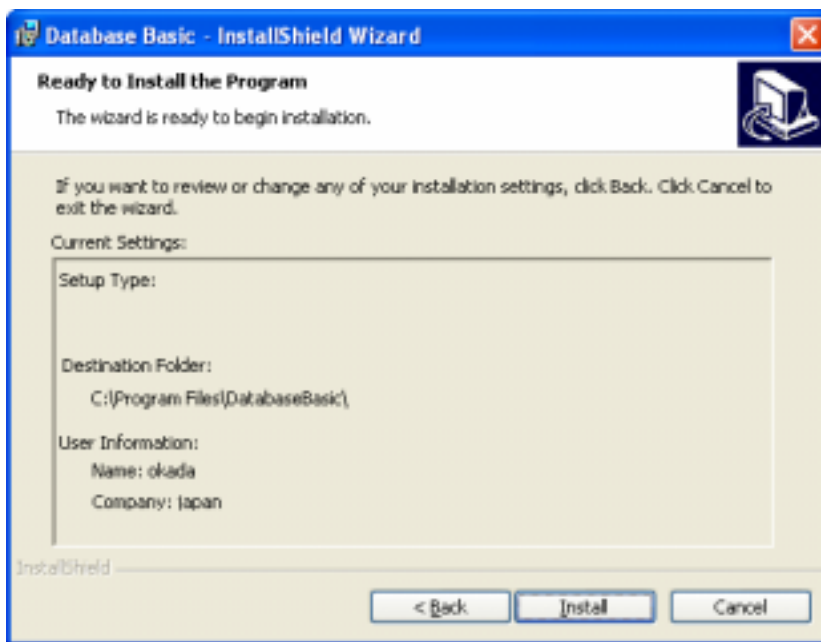
3. 次に下の画面が表示されます。ここでは、[User Name]の欄にお名前を入力してください。次に[Organization]の欄に所属を入力してください。その下の欄は、[Install this application for] となっており、[Anyone who uses this computer (all users)]が選択されています。そのままにしておいて、[Next]を押してください。



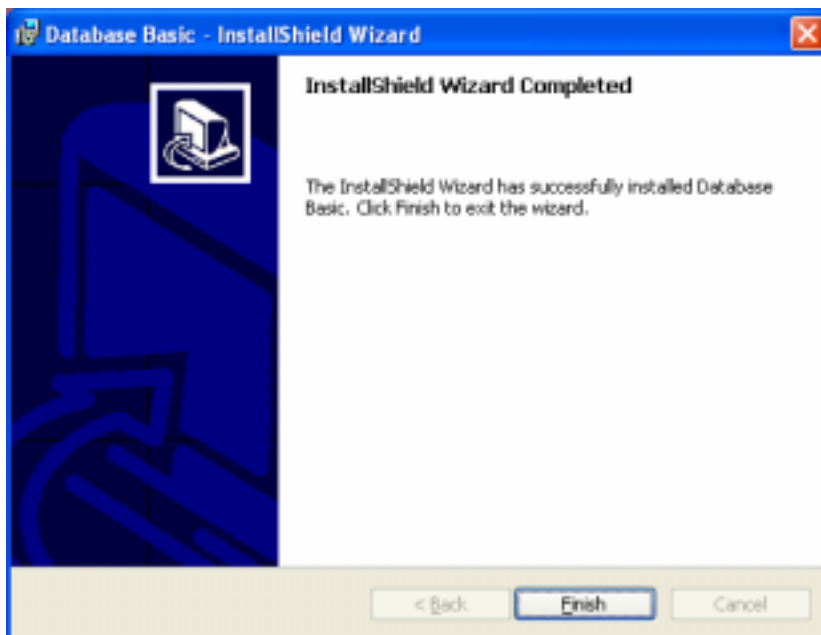
4. 次に下の画面が表示されますので、そのまま[Next]ボタンを押してください。



5. 次の画面になりますので、[Install]ボタンを押してください。インストールが実行されます。この画面は、皆さんの入力された名前および所属とプログラムの格納される場所を確認のために示しています。入力した名前や所属に間違いがあった場合は修正のために[Back]を押して元の画面に戻って修正してください。

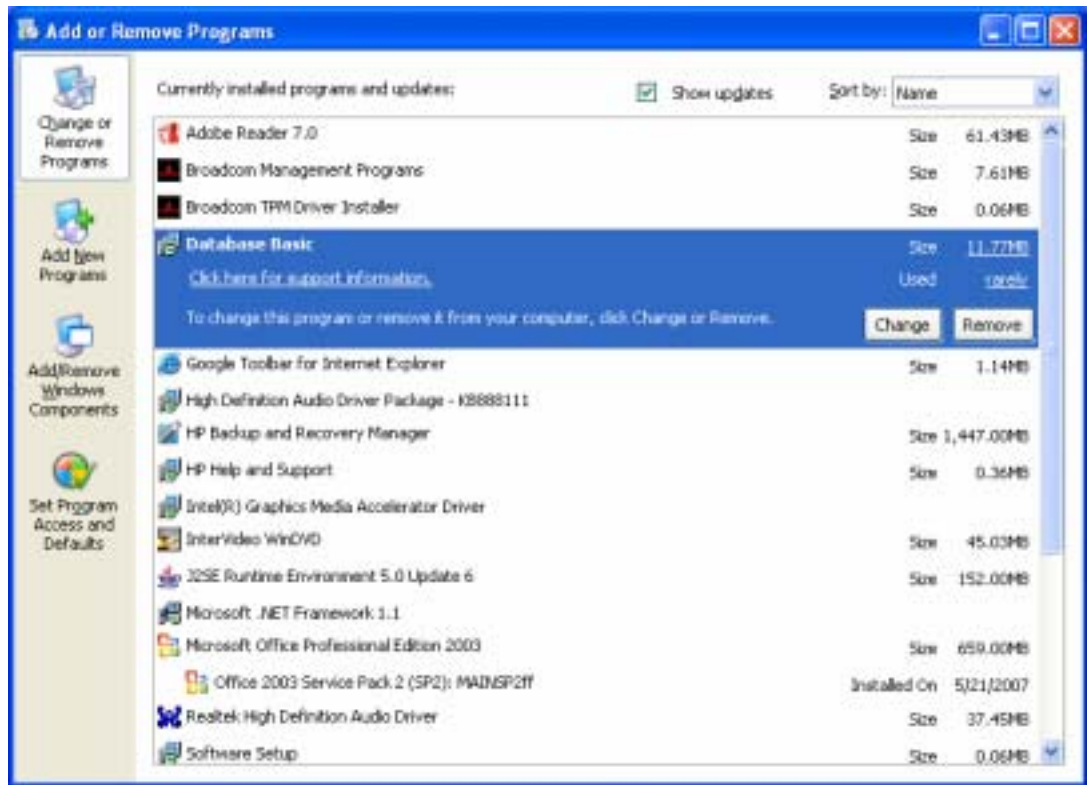


6. 下の画面が表示されたら[Finish]ボタンを押してください。これで、インストールは完了です。



アンインストール

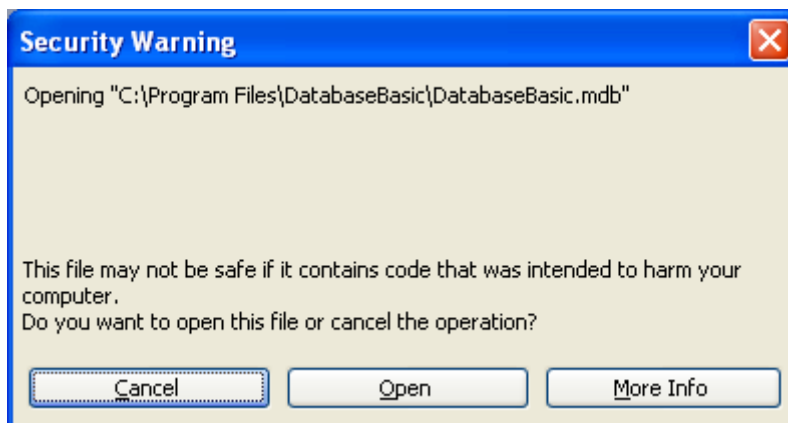
1. コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]から[Database Basic]を選択してソフトを削除してください。



2. 作業データはソフトをアンインストールしても、ハードディスクに残っていますので、不要な場合はマイコンピュータやエクスプローラなどで削除してください。作業データのファイルは、本ソフトがインストールされていたフォルダに残っています。インストール先フォルダの初期値は、C:¥Program Files¥Database Basic¥Results です。

ソフトの起動

1. 本ソフトは、スタートメニューから起動するか、デスクトップにある[Database Basic]アイコンから起動してください。
2. ソフトを起動すると次のような画面が表示されますので、[Open]ボタンを押してください。

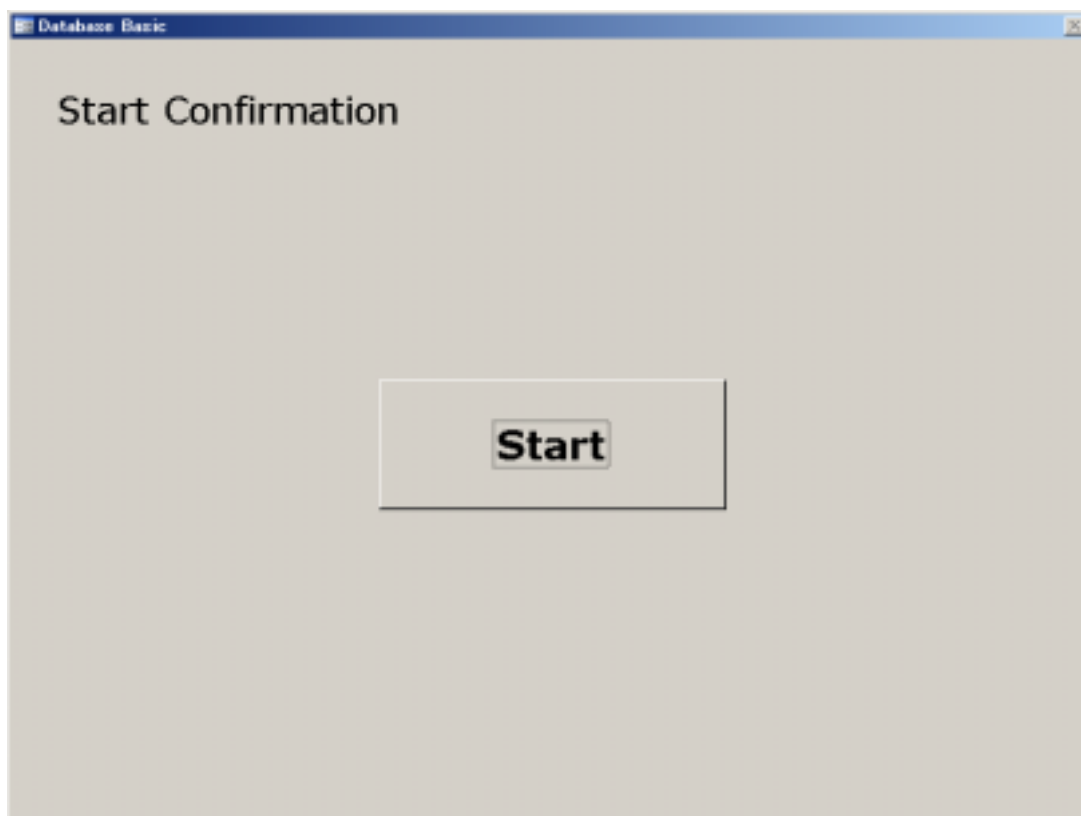


3. 下のメニュー画面が表示されます。



Data Entry

1. メニュー画面から [Data Entry] ボタンを押すとスタート確認の画面が表示されます。
2. [Start] ボタンを押すと、Data Entry の画面が表示されます。それと同時に、時間の計測が開始されます。



3. Reader's Card の印刷物を参照して、画面にデータを入力していきます。

次のカードの入力を行うには、[Next]ボタンを押します。

また、[Back]ボタンを押すと、前のカードに戻ります。

Database Basic

Data Entry

NO.

Name(1)

Country/Region(2)

Phone(3)

E-mail(4)

Question1(5)

Question2(6) 1. Very interesting. 2. Interesting.
 3. Not interesting. Non-responding.

Question3 yes(A) no(S)

Data Correction

1. メニュー画面から [Data Correction] ボタンを押すと、スタート確認の画面が表示されます。
2. [Start] ボタンを押すと、Data Correction の画面が表示されます。(スタート確認の画面は省力)
3. Customer's Card の印刷物を参照して、画面に表示されているデータの誤りを修正していきます。
次のカードの修正を行うには、[Next] ボタンを押します。
[Back] ボタンを押すと、前のカードに戻ります。

Database Basic

Data Correction

NO.

Customer Code(1)

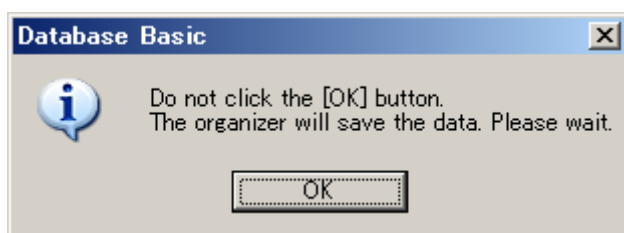
Commodity Code(2)

phone(3)

E-mail(4)

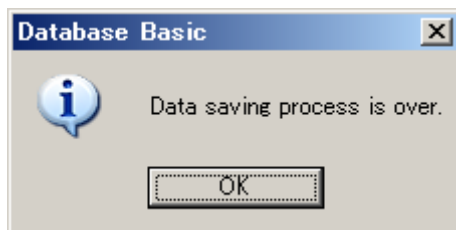
作業の終了

1. Data Entry と Data Correction の作業は、[Start]ボタンを押して 60 分経過すると自動的に終了します。また、全部のカードを入力、修正して[Next]ボタンを押すと作業は終了します。
2. 作業が終了すると、下の画面が表示されます。ここで競技者の皆さんの作業は終わりです。あとは、キーボードおよびマウスに手を触れないで、競技委員が作業データを保存する間、そのまま待っててください。



ここからは競技委員が操作します。

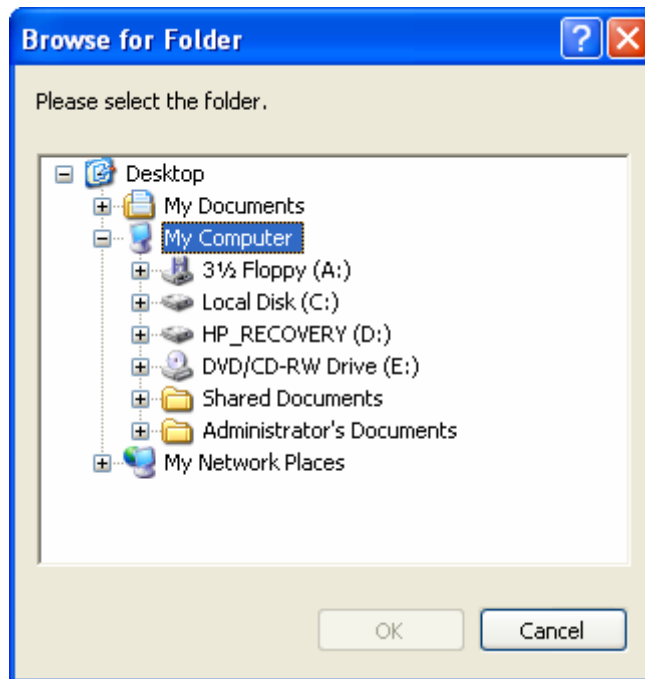
3. 上のメッセージが表示されている状態で、FD ドライブ (A ドライブ) に、FD をセットして、[OK]ボタンを押してください。
4. [OK]ボタンを押すと、FD に作業データの保存が開始されます。
5. 作業データが正しく保存されると下のメッセージが表示されます。



6. [OK]ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

注意

FD ドライブがないコンピュータや、FD へのコピーが失敗すると、作業データの保存先の選択画面が表示されます。保存先を指定して[OK]ボタンを押してください。

**注意**

作業データの保存が正常に完了しないと、Data Entry または Data Correction の作業を終わることができません。

作業データの確認

1. データ入力やデータ修正の結果を確認するには、上で保存した作業データを使います。また、同じデータがハードディスクの C:¥Program Files¥Database Basic¥Results にも保存されています。
2. 作業データとして、2種類のファイルがあります。一つは、ファイル名が[年月日・時刻・Results・作業課題名]のファイルで、作業枚数、正解枚数、エラー率等の集計結果と、何枚目のカードのどの項目にエラーがあったかを示します。もう一つは、ファイルが[年月日・時刻・Input・作業課題名]のファイルで、実際に入力または修正したデータを保存しています。詳細にエラーチェックする場合は、まず一つめのファイルでエラーの箇所を確認し、次いでそれらの箇所について、二つめのファイルの内容と印刷物のデータを比較してください。(Data Correctionについては、実際にソフトを起動して、課題の画面も表示するとエラーの内容が明確になります。)

作業課題データの印刷

Data Entry や Data Correction の作業で使う Reader's Card や Customer's Card は、添付の PDF データを印刷して作成してください。

Reader's Card は 300 枚、Customer's Card は 400 枚用意されています。